

令和7年度第2回

千葉県地域職業能力開発促進協議会資料

1. 令和6・7年度公的職業訓練の実施状況について . . . 1
 2. 令和8年度千葉県地域職業訓練実施計画の策定について . . . 3
 3. 公的職業訓練効果検証ワーキンググループにおける検証対象分野の選定等について . . 8
 4. 教育訓練給付制度における地域の訓練ニーズを踏まえた指定講座の拡大
 5. その他
- <参考資料> ・地域におけるリスキリング推進に関する地方財政措置について . . . 12
・生産性向上人材育成支援センター . . . 13
・ハورتレーニングの受講状況及び就職状況（過去の実績等） . . . 14

日時：令和8年2月26日(木) 13:30

会場：千葉市文化センター9階会議室

1. 令和6・7年度公的職業訓練の実施状況について

令和6年度千葉県地域職業訓練実施計画に係る職業訓練実施状況

訓練コース・実施機関			受講者数（人）		達成率	就職率	
			計画	実績		目標	実績
離職者訓練	施設内訓練	高・障・求機構 千葉支部	870	873	100.3%	82.5%	89.2%
		千葉県	188	83	44.1%	82.5%	83.1%
	委託訓練	千葉県	3,683	2,093	56.8%	75.0%	71.2%
在職者訓練	施設内訓練	高・障・求機構 千葉支部	13,037	9,859	75.6%		
		千葉県	324	163	50.3%		
学卒者訓練	施設内訓練	高・障・求機構 千葉支部	125	94	75.2%	95.0%	97.0%
		千葉県	208	84	40.4%	95.0%	94.6%
障害者訓練	施設内訓練	千葉県	90	44	48.9%	70.0%	89.7%
	委託訓練	千葉県	150	106	70.7%	55.0%	40.2%
求職者支援訓練	基礎コース		687	329	47.9%	58.0%	57.9%
	実践コース		1,604	1,529	95.3%	63.0%	58.8%

※就職率は、当該年度末までに終了したコースの3ヶ月後の実績

令和7年度千葉県地域職業訓練実施計画に係る職業訓練実施状況

令和7年度 千葉県職業訓練実施計画に係る職業訓練実施状況

訓練コース・実施機関			受講者数（人）		達成率	就職率	
			計画	実績		目標	実績
離職者訓練	施設内訓練	高・障・求機構 千葉支部	870	624	71.7%	82.5%	87.2%
		千葉県	176	79	44.9%	82.5%	85.7%
	委託訓練	千葉県	3,570	1,709	47.9%	75.0%	66.4%
在職者訓練	施設内訓練	高・障・求機構 千葉支部	13,466	8,846	65.7%		
		千葉県	347	155	44.7%		
学卒者訓練	施設内訓練	高・障・求機構 千葉支部	125	84	67.2%	95.0%	-
		千葉県	183	102	55.7%	95.0%	-
障害者訓練	施設内訓練	千葉県	90	40	44.4%	70.0%	-
	委託訓練	千葉県	139	113	81.3%	55.0%	-
求職者支援訓練	基礎コース		692	288	41.6%	58.0%	-
	実践コース		1,614	1,017	63.0%	63.0%	-

※受講者数について、令和7年12月末までの実績

※離職者訓練のうち施設内訓練の就職率は、令和7年9月末までに終了したコースの3ヶ月後の実績

※離職者訓練のうち委託訓練の就職率は、令和7年6月末までに終了したコースの3ヶ月後の実績

2. 令和8年度 千葉県地域職業訓練実施計画の策定について

策定に向けたポイント

離職者訓練

※令和7年度第1回千葉県地域職業能力開発促進協議会協議事項

複数ある職業訓練分野（事務、介護、製造、農業、建設、デジタル等）の中から、主に改善が必要とされる以下の2分野を選定。

① 介護分野(人手不足分野)

➡ 求職者の介護分野等の仕事や訓練に関する理解促進のため、訓練前見学会等への参加を積極的に働きかけるとともに、訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化を行う。

特に千葉県委託訓練については、効果的な周知広報等、受講者数増加のための取組も併せて行う。



② デジタル分野(成長分野)

➡ 受講者確保のため、本人の希望だけではなく、本人の職業能力や求職条件等を踏まえた適切な職業相談、訓練のあっせんを行う。また、ミスマッチ低減のため、引き続き、訓練実施施設における事前説明会・見学会の機会確保と、ハローワーク訓練窓口職員の更なる知識向上を図る。

また、千葉県委託訓練については、受講者数の実績を踏まえ、コース数の適正化を図る。



① 介護分野(人材不足分野)

介護分野について、千葉県における直近の有効求人倍率はフルタイム3.70倍、パートタイム6.13倍で人材不足が顕著となっている。一方、職業訓練の当該分野における応募倍率は他の分野に比べて低調であることから、応募倍率の上昇を図る取組が必要。

<考え方>

少子高齢化・人口減少社会が進展する中、介護分野における人材の確保・育成を図る。

【長期高度人材育成コース】定員120人→うち介護福祉士養成コース34人（前年度計画37人）

【公共職業訓練（委託訓練）】定員2,523人→うち介護分野480人（前年度計画684人／構成比0.2P減）

※長期高度人材育成コースを除く

【求職者支援訓練（実践コース）】定員1,614人→うち介護系コース323人

（前年度計画323人／構成比の増減なし）

応募倍率の上昇に向け、求職者に対し介護分野等の仕事や職業訓練についての理解促進のため、訓練前見学会等への参加を積極的に働きかけるとともに、訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨を行う。

全てのハローワークにおいて、ハロートレーニングの受講促進、周知広報及び就職支援に取り組むとともに、人手不足が深刻な分野等における人材の確保・育成のため、人材確保対策コーナーを設置しているハローワーク（千葉・船橋・松戸・成田）においては求職者へのキャリアコンサルティングによるきめ細かな職業相談・職業紹介に積極的に取り組む等によりマッチング支援の強化を図る。

② デジタル分野(成長分野)

労働者や求職中の者に対するデジタル技術の活用に関するスキルの向上を図り、職業訓練におけるデジタル分野の就職率を上昇させ、労働市場におけるデジタル人材の確保・育成を進める。



<考え方>

県内ハローワークにおける令和6年度の公的職業訓練の受講者のうち、デジタル分野（IT分野・Webデザイン分野）の受講希望者の割合は全体の約25%であり、事務分野に次いで受講希望者が多いことから、引き続き、デジタル分野の人材の確保・育成を図る。

【公共職業訓練（委託訓練）】 定員2,523人→うちデジタル人材育成コース429人
(前年度計画606人／構成比の増減なし)

【求職者支援訓練（実践コース）】 定員1,614人→うちデジタル系コース484人
(前年度計画484人／構成比の増減なし)

本人の受講希望だけでなく、本人の職業能力や求職条件等を踏まえた適切な職業相談、受講あっせんを行う。また、ミスマッチ低減のため、引き続き、事前説明会・見学会の機会確保を図る。

さらに、支援を行うハローワーク訓練窓口職員の更なる知識向上を図る。併せて、訓練修了者のスキルが活用できる求人の確保を推進するとともに、事業主等に対して、訓練受講により習得することができるスキル等の訓練効果を広く周知することなどにより、就職機会の拡大を図る。

計画期間中のハロートレーニングの対象者数等

令和8年度計画

令和7年度計画（参考）

訓練コース・実施機関			定員（人）	就職率目標
離職者訓練	施設内訓練	機構千葉支部	870	82.5%
		千葉県	176	82.5%
	委託訓練	千葉県	2,523	75.0%
在職者訓練	施設内訓練	機構千葉支部	14,619	-
		千葉県	343	-
学卒者訓練	施設内訓練	機構千葉支部	125	95.0%
		千葉県	183	95.0%
障害者訓練	施設内訓練	千葉県	90	70.0%
	委託訓練	千葉県	138	55.0%
求職者支援訓練	基礎コース		692	58.0%
	実践コース		1,614	63.0%
計			21,373	-

定員（人）	就職率目標
870	82.5%
176	82.5%
3,570	75.0%
13,466	-
347	-
125	95.0%
183	95.0%
90	70.0%
139	55.0%
692	58.0%
1,614	63.0%
21,272	-

ハポートレーニング（離職者向け）の令和8年度計画

		全体計画 数	公共職業訓練（千葉県）		公共職業訓練 （高齢・障害・求職者支 援機構）	求職者支援訓練
			施設内	委託		
分野		定員	定員	定員	定員	定員
公共職業訓練 離職者向け + 求職者支援訓練 実践コース	IT分野	671	0	429	0	242
	営業・販売・事務分野	1,265	0	700	0	565
	医療事務分野	80	0	0	0	80
	介護・医療・福祉分野	894	0	571	0	323
	農業分野	2,273	40	0	0	404
	旅行・観光分野		0	0	0	
	デザイン分野		0	0	0	
	製造分野		32	0	538	
	建設関連分野		54	80	120	
	理容・美容関連分野		0	5	0	
	その他分野		50	738	212	
	求職者支援訓練（基礎コース）		692	0	0	
合計		5,875	176	2,523	870	2,306
(参考) デジタル分野		913	0	429	0	484

※ 「定員」とは、当該年度中における開講コースの定員の数。

※ 委託訓練で、分野が未決定のものはその他分野に分類。

3. 公的職業訓練効果検証ワーキンググループにおける検証対象分野の選定等について

	地域職業能力開発促進協議会	<ニーズを踏まえた訓練の設定> 協議会での協議等	<効果検証> ワーキンググループ（WG）での作業	【参考】 中央職業能力促進協議会
4月		人材ニーズ情報収集（常時）	WGによる効果検証	
5月	協議会開催に向けた 関係機関の打合せ等		検証対象コースの選定	
6月			ヒアリング ○訓練実施機関 ○訓練修了者 ○採用企業	
7月			ヒアリング結果の整理	
8月			訓練効果の把握・検証（案）取りまとめ	
9月		前年度の訓練実績の把握 次年度計画のたたき台作成		
10月		次の事項の協議を実施 ①地域の人材ニーズの把握 ②公的職業訓練の実施状況 （前年度計画と実績の比較） ③訓練効果の把握・検証 （WGの結果報告） ④次年度地域職業訓練実施計画の方針		中央協議会①開催
11月	協議会①開催			
12月				
1月		今年度の訓練実績の把握		中央協議会②開催
2月	協議会②開催	次の事項の協議を実施 ①公的職業訓練の実施状況（今年度の進捗） ②次年度地域職業訓練実施計画（案） ③効果検証（分野決定等）等		
3月				

・・・労働局作業

公的職業訓練効果検証ワーキンググループの進め方（令和8年度実施分）

目的

適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため、個別の訓練コースについて訓練修了者等へのヒアリング等を通じ、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図る。

構成員

地域職業能力開発促進協議会（地域協議会）の構成員のうち、
千葉労働局、千葉県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部

検証手法

検証対象の訓練分野を選定し、当該分野の訓練コースの対象へのヒアリングを行い、その結果から、訓練効果等に関して検証し、改善促進策（案）を検討。

具体的な進め方

- ① 地域協議会で検証対象の訓練分野を選定。
- ② ワーキンググループ（WG）は、選定された分野の中から訓練コースを3コース以上選定し、各コースの対象の3者にヒアリング。（訓練修了者、採用企業、訓練実施機関）
*対象ごとに別々にヒアリングを行うなど、なるべく率直な意見を聴ける方法を検討する。
- ③ WGは、ヒアリング結果を踏まえ、調査した訓練コースを含む分野全体について「訓練効果が期待できる内容」、「訓練効果を上げるために改善すべき内容」を整理。
- ④ WGは、地域協議会に改善促進策（案）を報告し、次年度の地域職業訓練計画の策定に反映。
*今年度の改善促進策は、令和8年度計画の実施方針に反映。

検証対象訓練分野



デジタル分野のうちWebデザイン分野

Webデザインの職業訓練を希望する者は多いが、就職率が他に比べて低いため、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラムの改善を図る。

公的職業訓練効果検証ワーキンググループの検証結果等

公的職業訓練効果検証ワーキンググループの検証分野については、多数の意見をいただき効果的な検証を行うためには継続して実施することが重要であるため、令和5年度から令和7年度までの3年間「介護分野」「デジタル分野」について効果検証を行ってきた。

介護分野

介護分野については、効果検証を行った結果、カリキュラム内容について訓練受講修了者から高い評価を得ており、また、修了者を採用した企業からも高い評価を得ている。就職率についても他の分野に比べ高い水準で推移している。課題としては、応募倍率が低く、応募者の増加を図ることであるため、千葉県・機構千葉支部・訓練実施機関と労働局ハローワークが連携を取り、訓練前説明会や職場見学会などを通じて介護分野の仕事について魅力を発信することを継続し、当該分野の効果検証は令和7年度までの3年間で区切りをつけることとしたい。

デジタル分野

デジタル分野については、同じデジタル分野の中でも、IT分野とWebデザイン分野では課題が異なってきている。

【IT分野】

IT分野については、ワーキンググループでの効果検証に加え千葉県情報サービス産業協会に協力をいただいてアンケート及びヒアリングを実施し、企業ニーズとして、国家資格の「基本情報技術者」の取得を求める声や、訓練期間の延長を求める声があるなどの検証結果が出ており、千葉県及び機構千葉支部とも共有をしている。

これらの検証結果については、中・長期的に改善を図る必要があるため、当該分野の効果検証は令和7年度までの3年間で区切りをつけることとしたい。

【Webデザイン分野】

Webデザイン分野については、全国的な傾向と同じく「応募倍率が高いが、就職率が低い分野」となっており、就職率の上昇が課題である。また、当該分野に絞った検証をおこなっていないため、就職率上昇に向けて令和8年度の効果検証分野としたい。

< 参考資料 >

地域におけるリスキリング推進に関する地方財政措置について

概要

【対象事業】地域に必要な人材確保(中小企業、農林水産、介護等)のため、デジタル・グリーン等成長分野に関するリスキリングの推進に資する、

- ①経営者等の意識改革・理解促進
- ②リスキリングの推進サポート等
- ③従業員(在職者)の理解促進・リスキリング支援

※ 地域職業訓練実施計画(職業能力開発促進法第15条第1項の協議会で策定する計画)に位置付けられる地方単独事業を対象(地方単独事業が対象であることから、運営費に国の交付金が交付されている職業能力開発校等が実施する事業を含め、国又は都道府県から補助金等が交付されている事業は対象外となります)

※ 事業の対象者を離職者等とする事業については、本地方財政措置の対象として想定していないこと

【事業期間】令和8年度まで

【地方財政措置】特別交付税措置(措置率0.5)

【対象事業例】

①経営者等の意識改革・理解促進

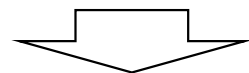
経営者向けセミナー開催、産学官のリスキリング協議会の設置・運営、経済団体等のリスキリング支援に関する理解促進等

②リスキリングの推進サポート等

専門家・アドバイザー派遣による企業のリスキリング計画策定支援、相談窓口によるワンストップ支援、地域の支援人材不足解消のためのリスキリング推進人材育成等

③従業員(在職者)の理解促進・リスキリング支援

従業員向けセミナー開催、従業員向け短期講座開催、資格試験経費助成等



地域リスキリング推進事業の全体方針、主要事業等を
地域職業訓練実施計画に記載

生産性向上人材育成支援センター

高齢・障害・求職者雇用支援機構では、事業主等の皆様が従業員に対して行う教育訓練が効果的に実施されるようにするため、全国で運営するポリテクセンター（職業能力開発促進センター）やポリテクカレッジ（職業能力開発大学校／職業能力開発短期大学校）等に「生産性向上人材育成支援センター」を設置しています。

企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成に必要な支援を一貫して行っています。

1. 支援の流れ



2. 支援メニュー

(1) 在職者訓練（高度な技能・技術の習得を支援）

設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全など”ものづくり分野”における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした訓練コースを体系的に実施しています。



(2) 生産性向上支援訓練（生産性向上に必要な知識等の習得を支援）

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用などあらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、企業が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得する訓練コースを、専門的知見を有する民間機関等と連携して実施しています。

また、70歳までの就業機会の確保に向けた「ミドルシニアコース」を実施し、中高年齢層の従業員を対象に生涯キャリア形成を支援しています。



(3) 職業訓練指導員の派遣・施設設備の貸出

「研修を行いたいけど講師がない」「研修を行いたいけど機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、当機構の職業訓練指導員を企業に派遣することや、ポリテクセンターなどの施設・設備（会議室、実習場及び訓練用設備・機器）の貸出しを行っています。

公共職業訓練（離職者訓練）受講状況・就職状況

			受講者数(人)	充足率	就職率
令和3年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	1,184	93.8%	85.5%
		千葉県	92	58.7%	77.0%
	委託訓練	千葉県	3,270	77.7%	72.6%
令和4年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	1,131	94.9%	85.0%
		千葉県	97	60.1%	88.8%
	委託訓練	千葉県	3,127	71.6%	72.8%
令和5年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	1,145	93.1%	87.3%
		千葉県	92	47.6%	90.2%
	委託訓練	千葉県	2,791	70.6%	71.4%
令和6年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	1,153	100.3%	89.2%
		千葉県	93	47.2%	83.5%
	委託訓練	千葉県	2,621	59.8%	71.2%
令和7年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	921	102.6%	87.2%
		千葉県	89	50.6%	85.7%
	委託訓練	千葉県	1,709	41.0%	66.4%

※ 受講者数について、令和7年度は令和7年12月末までの実績。前年度繰越者数と当該年度入校者数の合計。

※ 離職者訓練のうち施設内訓練の就職率は、令和7年9月末迄に終了したコースの3ヶ月後の実績。

※ 離職者訓練のうち委託訓練の就職率は、令和7年6月末迄に終了したコースの3ヶ月後の実績。

公共職業訓練（在職者訓練）受講状況

		受講者数(人)
令和3年度	高・障・求機構千葉支部	5,876
	千葉県	198
令和4年度	高・障・求機構千葉支部	8,027
	千葉県	196
令和5年度	高・障・求機構千葉支部	9,332
	千葉県	209
令和6年度	高・障・求機構千葉支部	9,859
	千葉県	163
令和7年度	高・障・求機構千葉支部	8,846
	千葉県	155

※ 受講者数について、令和7年度は令和7年12月末迄の実績。当該年度入校者数の合計。

公共職業訓練（学卒者訓練）受講状況・就職状況

			受講者数(人)	充足率	就職率
令和3年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	114	91.2%	97.8%
		千葉県	124	54.4%	95.6%
令和4年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	91	72.8%	96.2%
		千葉県	120	52.6%	94.1%
令和5年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	102	81.6%	100.0%
		千葉県	118	56.7%	94.8%
令和6年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	94	75.2%	97.0%
		千葉県	84	40.4%	94.6%
令和7年度	施設内訓練	高・障・求機構千葉支部	84	67.2%	91.2%
		千葉県	102	55.7%	—

※ 受講者数について、令和7年度は令和7年12月末迄の実績。当該年度入校者数の合計。

公共職業訓練（障害者訓練）受講状況・就職状況

		受講者数(人)	就職率
令和3年度	障害者職業能力開発校における職業訓練	51	81.4%
	障害者の多様なニーズに対応した委託訓練	143	50.4%
令和4年度	障害者職業能力開発校における職業訓練	54	62.5%
	障害者の多様なニーズに対応した委託訓練	131	30.5%
令和5年度	障害者職業能力開発校における職業訓練	55	74.4%
	障害者の多様なニーズに対応した委託訓練	136	30.2%
令和6年度	障害者職業能力開発校における職業訓練	43	89.7%
	障害者の多様なニーズに対応した委託訓練	106	40.2%
令和7年度	障害者職業能力開発校における職業訓練	40	—
	障害者の多様なニーズに対応した委託訓練	113	21.2%

※ 受講者数について、令和7年度は令和7年12月末迄の実績。当該年度入校者数の合計。

求職者支援訓練実施状況

	① 認定コース	② 認定定員 (人)	③ 開講コース数	④ 開講定員 (人)	⑤ 受講者数 (人)	開講率 (③／①)	開講コースの 充足率 (⑤／④)
令和3年度	117	1,979	101	1,654	1,076	86.3%	65.1%
令和4年度	143	2,735	131	2,505	1,711	91.6%	68.3%
令和5年度	157	3,006	150	2,921	2,128	95.5%	72.9%
令和6年度	135	2,299	133	2,272	1,858	98.5%	81.8%
令和7年度	96	1,697	93	1,652	1,305	96.9%	79.0%

※ 令和7年度は、令和7年12月末迄の実績。

求職者支援訓練就職状況

		コース数	受講者数 (人)	就職理由以外 の中退者数 (人)	① 就職理由 中退者数 (人)	② 修了者数 (人)	③ 訓練連続 受講者数 (人)	④ 修了者等数 (①+②-③) (人)	⑤ 就職者数 (人)	就職率 (⑤/④)
令和2年度	基礎コース	25	202	35	18	149	2	165 (160)	81 (80)	50.0%
	実践コース	64	698	112	100	486	-	586 (559)	324 (320)	57.2%
令和3年度	基礎コース	21	215	25	12	178	1	189 (187)	73 (73)	39.0%
	実践コース	75	837	109	81	647	-	728 (700)	373 (363)	51.9%
令和4年度	基礎コース	30	317	35	33	249	4	278 (264)	128 (126)	47.7%
	実践コース	87	1,119	102	99	918	-	1,017 (993)	442 (435)	43.8%
令和5年度	基礎コース	28	340	24	35	281	3	313 (304)	168 (167)	54.9%
	実践コース	117	1,606	126	157	1,323	-	1,480 (1,437)	829 (806)	56.1%
令和6年度	基礎コース	28	356	16	36	304	-	340 (318)	187 (184)	57.9%
	実践コース	105	1,594	158	204	1,232	-	1,436 (1,395)	835 (820)	58.8%

※当年度中に終了したコースについて集計。

※就職率については、以下の算定式(ただし、式の分母分子から訓練終了日において65歳以上の者を除く。)により算出。

⑤就職者数(雇用保険適用)÷④修了者等数(①就職理由中退者+②訓練修了者-③次の訓練を受講する者(基礎コースのみ))

(表中の()内の数値は、訓練終了日において65歳以上の者を除いた数であり、これに基づき就職率を算出。)

(参考)令和元年度の事業目標:雇用保険適用就職率 [基礎コース]55% [実践コース]60%

令和2年度から令和6年度の事業目標:雇用保険適用就職率:[基礎コース]58% [実践コース]63%

求職者支援訓練就職状況 (令和6年4月～令和7年3月コース別／分野別)

	コース数	受講者数 (人)	就職理由 以外の 中退者数(人)	① 就職理由 中退者数 (人)	② 修了者数 (人)	③ 訓練連続 受講者数 (人)	④ 修了者等数 (①+②-③) (人)	⑤ 就職者数 (雇用保険適用) (人)	就職率 (⑤/④)	(参考) 従前の 就職率	令和5年度	
											就職率	従前の 就職率
基礎コース	28	356	16	36	304	7 (7)	333 (318)	187 (184)	57.9%	72.4%	54.9%	71.6%
実践コース	105	1,594	158	204	1,232	—	1,436 (1,396)	(835) (820)	58.7%	75.8%	56.1%	72.2%
IT	11	127	16	19	92	—	111 (104)	52 (49)	47.1%	63.1%	65.2%	71.7%
営業・販売・ 事務	47	765	50	109	606	—	715 (697)	420 (412)	59.1%	76.4%	54.4%	71.5%
医療事務	2	19	0	0	19	—	19 (19)	15 (15)	78.9%	100.0%	85.0%	90.0%
介護福祉	10	92	6	1	85	—	86 (79)	55 (54)	68.4%	83.7%	63.0%	78.6%
デザイン	24	445	57	62	326	—	388 (382)	210 (208)	54.5%	71.6%	53.6%	68.8%
その他	11	146	29	13	104	—	117 (115)	83 (82)	71.3%	88.0%	59.3%	77.2%

※令和6年4月から令和7年3月末までに終了したコースについて集計。

※就職率については、以下の算定式(ただし、式の分母分子から訓練終了日において65歳以上の者を除く。)により算出。

⑤就職者数(雇用保険適用)÷④修了者等数(①就職理由中退者+②訓練修了者-③次の訓練を受講する者(基礎コースのみ))

(表中の()内の数値は、訓練終了日において65歳以上の者を除いた数であり、これに基づき就職率を算出。)

※「従前の就職率」とは、雇用保険適用でない就職者を含む就職率をいう。

リカレント教育の推進について

令和 8 年 2 月 2 6 日
千葉県教育庁生涯学習課

1 事業目的

人生100年時代やSociety5.0の到来等を踏まえ、令和5年5月に「千葉県生涯学習推進方針」を策定し、県民一人一人が地域社会での活躍や産業人材としての活躍を続けられるよう官民連携により生涯学習を推進することとし、新たな取組として、特にリカレント教育の充実を図ることとしている。

令和5年度から、産学官連携体制の協議会での議論も踏まえながら、学び直しの動機付けとなる講座（リカレント講座※別添チラシ参照）等を実施している。

令和6年度からは、専門家（キャリアコンサルタント等）による個別相談を通じて、自身のキャリアを見つめ直し、スキルアップ等につなげる支援を行う「学びの総合窓口」を運営している。

2 事業概要

（1）千葉県リカレント教育推進協議会の運営

ア 目的 経済団体等の産業界や大学や職業訓練施設等の教育機関、国や県関係部局からなる協議会において、課題や情報を共有するとともに、今後のリカレント教育推進のあり方を検討する。

イ 概要 必要に応じて年2回程度開催予定
（令和7年度は開催なし）

（2）「学びの総合窓口」の運営

ア 目的 自身のキャリアを見つめ直し、スキルアップ等の支援を行う「学びの総合窓口」をさわやかちば県民プラザに開設し、学習情報の提供やキャリアコンサルタント等によるオンライン相談を実施する。また、業界に精通した方を講師とし、各業界で求められる人材像やスキル等の概観やキャリア形成の重要性などを学び、学び直しの動機付けとなる講座（リカレント講座）を実施する。

イ 概要 キャリア個別相談（オンライン）を実施（R8.1.31現在 約400回）

リカレント講座を実施（年10回、アーカイブ配信あり）

- ①キャリア×子育て ②DX思考×個人 ③日本の農業の未来×就農、
- ④50代×起業 ⑤AI×個人 ⑥建設×キャリア
- ⑦自己理解×キャリア、⑧デザイン・ライティング×働き方
- ⑨介護×キャリア ⑩人生100年時代×キャリア

（3）AIを活用した生涯学習情報の収集

ア 目的 AIシステムを活用して県内の生涯学習に係る情報を収集し、相談者等への確に情報提供を行う。

イ 概要 情報収集（月1, 000件程度）

リカレント・スキルアップなどのための

学びの総合窓口

キャリアの見つめ直しやスキルアップのため、
学び直しの情報や個別相談などのサポートを提供します！

複数講座参加歓迎

受講料
無料

社会人のための学び直しセミナー2025

リカレント講座

Recurrent

各業界に精通した講師を招き、
求められる人物像やスキル、
またキャリア形成の重要性などを
学べる講座をオンラインで開催します。



オンラインキャリア相談

Online Career

これまでのキャリアに捉われない学び直しや、
将来を見据えたスキル学習について、
キャリアコンサルタントがお悩みに寄り添う
オンラインの個別相談を受け付けています。

事前予約制

相談
無料

資格取得に向けた
学習・習慣化サポート

これからの時代に必要な
ITスキルの
習得・習慣化サポート

復職・復帰や
副業

育児や家庭との
両立

キャリアのもやもやを
解決！

定年後を見据えた
キャリア構築

起業のための
心得

ぼんやりとした
お悩みの可視化・言語化

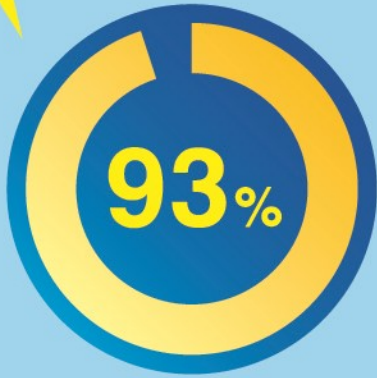
気軽にオンラインキャリア相談を試してみませんか？

申込方法等は裏面へ▶

学びの総合窓口による **オンライン キャリア相談** では、
昨年実施時に多くの方からご好評をいただいております。

昨年利用者のうち

ポジティブな
変化があった方が **93%**



Q キャリアコンサルタントとの面談機会により、
どのような変化がありましたか？ 複数回答可

- 1位 やるべきことの整理ができた
- 2位 前向きな行動を起こすきっかけになった
- 3位 キャリアや学びについての意識が高まった
- 4位 行動計画が立てられた

自分のキャリアやスキルについて
客観的にコメントしていただけたので、
まずはそれを参考に市場価値を探っ
てみようと思いました。



こちらの要望や状況に合った話や
アドバイスを的確にもらえました。
どんなことを**計画的に学んでいくべきか**
イメージが付きやすかったです。



無料で気軽に、
普段**周りにいない立場の方に**
相談できるというのは非常に貴重でした。



定年を控えた世代にとっての
セカンドキャリアと一緒に考えてもらえて、
これからの目標が見えました。

LINE登録がおすすめ！

オンライン キャリア相談は
いつでも予約可能！

詳しくは公式 LINE に登録して
チェック & 申込



キャリアコンサルタント・アドバイザーによる

**オンライン キャリア相談の
予約受付中！** 継続的に複数回のご相談も可能

初回
相談後アンケートに
回答いただいた方
先着 **200名**

500円分
Amazonギフト券
プレゼント！

電話・対面での
相談はこちら！



千葉県生涯学習センター・芸術文化センター
さわやかちば県民プラザ

柏市柏の葉 4-3-1 1階 情報提供エリア内

生涯学習相談

地域活動に繋がる
学びの相談

※これまでと同様に、趣味、教養、
社会貢献等の学びについても
受け付けています。

Tel : 04-7140-8616

Mail : manabi_sougou@pref.chiba.lg.jp

受講料
無料

千葉県 Presents

リカレント・スキルアップなどのための

学びの総合窓口

キャリアの見つめ直しやスキルアップのため、
学び直しの情報や個別相談などのサポートを提供します！

社会人のための学び直しセミナー2025

リカレント講座

オンラインキャリア相談

Recurrent

Online Career

「オンラインキャリア相談」

などを受け付けています。

コンサルタントと個別面談できる



子育て
介護業界の未来
定年・復職 デザイン
起業 ビジネス ライティング
建設業界の未来
日本の農業の未来
就農 DX思考
キャリア
身近な AI ツール
自己理解

さまざまな業界の知見を深められる

「リカレント講座」

や、

LINE登録がおすすめ

学び直しやリカレント講座などの
情報が届く！申し込み可能！



詳しくは公式 LINE に登録してチェック & 申込

キャリアコンサルタント・アドバイザーによる

オンラインキャリア相談の
予約受付中！

継続的に複数回のご相談も可能

初回 相談後アンケートに
回答いただいた方
先着 200名

500円分
Amazonギフト券
プレゼント！

講座の詳細は裏面へ

仕事とキャリアに役立つリカレント10講座!

複数講座お申込可能

リカレント講座日程



講座終了後
アーカイブでいつでも閲覧可能!!

注目業界講座

建設 × キャリア 後期

"建設業界"のイマとミライ
～街づくりを、ともに。～
ツクリンク株式会社
田中 Sando 氏

10/9
THU
19:00-

介護 × キャリア 後期

介護離職を防ぐ
～職場でできるサポートと
キャリアの考え方～
株式会社マイナビ 新領域開発室 部長
介護離職防止対策アドバイザー
井上 慶子 氏

12/10
WED
19:00-

じぶん講座

自己理解 × キャリア 後期

じぶん再発見
～自分の特性を理解し
キャリアに活かす～
株式会社Nキャリアート 代表
西村 栄子 氏

11/5
WED
19:00-

人生100年時代 × キャリア 後期

**人生100年時代を
イキイキと働くために**
2026 THU
1/15
19:00-

特定非営利活動法人
キャリアコンサルティング協議会
綿貫 哲也 氏

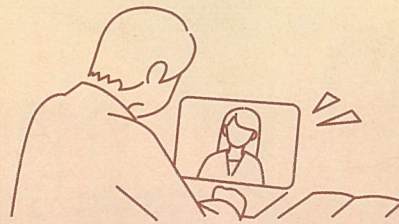
スキル講座

デザイン・ライティング × 働き方 後期

**私らしい働き方に
出会える
体験レッスン**
SHE 株式会社 事業推進部
森 満理絵 氏

11/19
WED
19:00-

詳しくは
公式 LINE に登録して
チェック & 申込!



すでに終了した講座も
**アーカイブで
配信中!!**

日本の農業の未来 × 就農

"就農"のイマ
～千葉の農業事情と手厚い
就農支援を徹底解説!～
千葉県農業者
総合支援センター

千葉県農業者
総合支援センター

キャリア × 子育て

子育てと仕事のバランスの正解は?
**「はたらく」の選択肢を広げる
思考と行動**
株式会社Timers 代表取締役
田和 晃一郎 氏

AI × 個人

**誰でもできる
生成AI活用**
～簡単にできる!あんなこと、こんなこと～
聖徳大学特命教授
浅岡 伴夫 氏

50代 × 起業

**50代から始める
"副業起業"のいろは**
株式会社ファーストブランド 代表取締役
河本 扶美子 氏

DX思考 × 個人

**"今日から使える!
ひとりできる!"**
無料 Web ツールで
業務と学び直しの効率化・習慣化
スクールエージェント株式会社
辻 史朗 氏



電話・対面での相談はこちら!



千葉県生涯学習センター・芸術文化センター
さわやかちば県民プラザ

柏市柏の葉 4-3-1 1階 情報提供エリア内

生涯学習相談

地域活動に繋がる
学びの相談

※これまでと同様に、趣味、教養、
社会貢献等の学びについても
受け付けています。

Tel : 04-7140-8616

Mail : manabi_sougou@pref.chiba.lg.jp

資格取得に向けた 放送大学の教育訓練給付指定講座 等の活用について



2026年2月26日

令和7年度第2回千葉県地域職業能力開発促進協議会

放送大学学園理事 里見 朋香

1. 職業訓練と教育訓練給付指定講座との連携の可能性

- ✓ 職業訓練では、比較的短期間で実践的な能力を身に付けられるが、資格取得のためには、より高度な内容を修得することが求められる場合も多い。
- ✓ 例えば、本協議会第1回資料「IT業界で必要とされる人材ニーズについて」のアンケート調査結果では、
 - ・ 国家資格である「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」の合格者
 - ・ プログラミング言語（Java、C言語、pythonなど）の修得者
 - ・ AWS認定資格（ソリューションアーキテクト）取得者
 - ・ 動きが早いので勉強が続けられる方へのニーズが高いことが示された。
- ✓ 職業訓練終了後、さらに資格試験を目指す方には、大学・専門学校等の教育訓練給付指定講座を受講するという選択肢があることをもっとアピールできないか。

(参考) 国家試験 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

● 試験区分一覧

より上位の試験区分を目指すことで、自己のスキルアップが可能

ITに関する共通的基礎知識を問う試験から高度な知識・技能を問う試験まで、13の試験区分（情報処理安全確保支援士試験を含む）を設けています。より上位の試験区分を目指して、自己のスキルアップの道筋と目標が分かり、学習計画が立てやすくなります。また、企業や学校にとっては採用や教育の目安になります。

※ ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験及び基本情報技術者試験は、CBT(Computer Based Testing)方式で実施。その他の試験区分も2026年度からCBT方式の実施に移行予定(2025年度まではペーパー方式での実施)



基本情報技術者試験

高度なIT人材を目指すには、基礎力が不可欠。

基礎を習得することで、応用力の幅が広がります!

基本情報技術者試験の特徴

ITを活用したサービス、製品、システム及びソフトウェアを作る人材に必要な基本的知識や技能、実践的な活用能力を問う国家試験です。プログラミングやコンピュータサイエンスを基礎から体系的に習得し、論理的思考力を養うことができます。また、情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどITに関する知識を幅広く習得することで、システム開発、IT基礎構築などの高層で役立つ力を身に付けることができます。「ITエンジニアの登竜門」とも呼ばれており、基本情報技術者試験をクリアすることは、「ITエンジニアとして企業で働くための第一歩」といえます。

ポイント

科目A試験では、IPAに認定された講座を受講し、修了試験に合格することで科目A試験を1年間免除できる制度があります。詳しくはIPAのWebページをご覧ください。



<https://www.ipa.go.jp/shiken/about/menjo-fe.html>

科目B試験では、「情報セキュリティ」と「アルゴリズムとプログラミング(擬似言語)」の二つの分野を中心に受験します。また、擬似言語による出題では、データ構造やアルゴリズムなどのプログラミングに必要な不可欠な要素を問う問題だけでなく、数理・データサイエンス・AIなどの分野へのプログラミングの適用を題材とした問題も出題します。

試験時間・出題形式

科目名	科目A	科目B
試験時間	90分	100分
出題形式	多肢選択式(4択択一)	多肢選択式
出題数 / 解答数	60問 / 60問	20問* / 20問
合格基準	各科目の評定点が全て基準点以上の場合に合格	
	科目A評定点 600点以上 / 1,000点満点	科目B評定点 600点以上 / 1,000点満点

科目A試験と科目B試験は同日で実施します。なお、科目A試験終了後、科目B試験を開始するまでの間に、最多で10分の休憩を取ることができます。*休憩はセキュリティ分野から数理・アルゴリズムとプログラミング分野から16問が出題されます。

基本情報技術者試験 受験申込みはこちら

受験申込みページ <https://cbt-s.com/examinee/examination/fe>

(詳細受付業務を委託する株式会社シービーティ・ソリューションズ のWebサイトです。)



(参考) 基本情報処理技術者試験

一般的には初学者は約200時間の勉強時間が必要とされている。

(シラバス)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 基礎理論 | 7 システム戦略 |
| 1 基礎理論 | 17 システム戦略 |
| 2 アルゴリズムとプログラミング | 18 システム企画 |
| 2 コンピュータシステム | 8 経営戦略 |
| 3 コンピュータ構成要素 | 19 経営戦略マネジメント |
| 4 システム構成要素 | 20 技術戦略マネジメント |
| 5 ソフトウェア | 21 ビジネスインダストリ |
| 6 ハードウェア | 9 企業と法務 |
| 3 技術要素 | 22 企業活動 |
| 7 ユーザーインタフェース | 23 法務 |
| 8 情報メディア | |
| 9 データベース | |
| 10 ネットワーク | |
| 11 セキュリティ | |
| 4 開発技術 | |
| 12 システム開発技術 | |
| 13 ソフトウェア開発管理技術 | |
| 5 プロジェクトマネジメント | |
| 14 プロジェクトマネジメント | |
| 6 サービスマネジメント | |
| 15 サービスマネジメント | |
| 16 システム監査 | |

2. 放送大学で教育訓練給付指定講座を受講したい場合

- ✓ 放送大学は、時間や場所を問わずインターネット利用のみでの単位取得も可能であるため、職業を持ちながら資格試験を目指す方にはメリットが大きい。
- ✓ 放送大学で教育訓練給付指定講座を受講するには、放送大学に入学し（学部は試験なし、大学院は試験あり）、学生（半年又は1年の学生種もあり）になっていただく必要がある。
- ✓ 学部の入学時期は年2回（4月、10月）だが、募集時期には毎年10数件「教育訓練給付が受けられる科目はどれか」という教育訓練給付受給を目的とした問合せがある。
- ✓ IT業界への就職を目指し、体系的に学んでから資格取得に挑戦する方には、教育訓練給付指定講座である
 - ・データサイエンスリテラシープラン（学部）
 - ・データサイエンスアドバンスプラン（学部）
 - ・情報学プログラム（大学院（修士））の活用が考えられるのではないか。

放送大学の教育訓練給付指定講座（データサイエンス・情報学）

（2025.10.1現在）

	学生種	講座名称	期間	修了要件
学部	選科履修生	企業会計コース	1年	指定された科目群から4科目以上の単位を修得
		企業経営コース		
	科目履修生	企業経営（短期養成）コース	6ヶ月	指定された科目群から2科目以上の単位を修得
	選科履修生	学校地域連携コーディネータプラン		14単位以上修得（必修6単位・選択必修2単位含む）
		データサイエンスリテラシープラン	1年	8単位以上修得（選択必修4単位含む）
	データサイエンスアドバンスプラン		10単位以上修得（必修5単位・選択必修5単位含む）	
大学院	修士全科生	生活健康科学プログラム 社会経営科学プログラム 情報学プログラム	2年	2年以上在学し、30単位以上を修得（研究指導8単位を含め16単位以上を所属するプログラムの授業科目より修得するものとする。）し、かつ、修士論文又は特定課題研究の審査及び試験に合格すること
	修士選科生	社会経営コース	1年	指定された科目群から4科目以上の単位を修得
		臨床心理コース	1年	
	修士科目生	社会経営（短期養成）コース	6ヶ月	指定された科目群から2科目以上の単位を修得
		臨床心理（短期養成）コース	6ヶ月	

※学部 選科履修生：1年間在学する非正規生、科目履修生：6か月在学する非正規生

※大学院 修士全科生：2年間在学する正規生、修士選科生：1年間在学する非正規生、修士科目生：6か月在学する非正規生

データサイエンスリテラシープラン



✓ 8 単位以上の修得が必要
(選択必修科目 4 単位以上を含む)

※ 1 単位科目は授業 8 回分、
2 単位科目は授業 15 回分
の学修内容

✓ 文部科学大臣認定
(MDASH Literacy)

【主な科目】

- ・ データサイエンス・リテラシー導入
- ・ 情報技術が拓く人間理解
- ・ AI システムと人・社会との関係
- ・ 情報セキュリティと倫理・心得
- ・ 身近な統計
- ・ プログラミング入門Python
- ・ C 言語基礎演習
- ・ R で学ぶ確率統計

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度 (認定の有効期限: 令和 9 年 3 月 31 日まで)
リテラシーレベル

16 データサイエンスリテラシープラン

認定状の名称		データサイエンス・リテラシー	
<p>(認定の教育目標と社会的意義) 数理・データサイエンス・AIは、現在進行中の社会変化に深く関与しているものであると、また、それらが自らの生活と密接に結びついていることを理解し、それを理解するための基礎的な知識を身につけること。</p> <p>(認定取得後の目的・目指せる道・資格等) ①データ収集・分析・数理的思考に基づいて社会の様々な課題を解決するためにデータサイエンスが活用されていることを理解する。 ②データサイエンス・AI、アプリケーション、データアナリストになるための基礎的な知識を身につける。基礎的な知識は、データAIの活用領域、留意事項、およびデータを読み、説明し取り扱うための知識を指す。</p> <p>(認定取得条件) 開講科目を含む授業科目の中から、選択必修科目 4 単位以上(ただし、同一単元の科目の中から1科目以上履修すること)を含めて 8 単位以上を修得すること。 ○: 選択必修科目 (Oa, Ob など同一単元の科目の中から1科目以上履修すること)。●: 選択科目 ※「備考」欄にも、履修の表記がある科目については、同じ記号の科目を複数履修していても、認定取得条件として認められるのは1科目目の単位数のみです。</p>			
授業科目群の構成			
科目名	分野別・Oa コース名	必修 科目	備考
1 データサイエンス・リテラシー導入 (22) 【1 単位】 ※ 2023年度から追加	基礎科目	Oa	※ 1
2 情報技術が拓く人間理解 (20)	情報 / 心徳と教育 自然と環境	Oa	
3 AIシステムと人・社会との関係 (20)	情報	Oa	
4 情報学への応用 (16) 情報セキュリティと倫理・心得 (26)	基礎科目	Ob	
5 情報セキュリティと情報倫理 (18) 情報セキュリティと倫理 (14)	情報	Ob	※ 2
6 データサイエンス・リテラシー心構 (22) 【1 単位】 ※ 2023年度から追加	基礎科目	Oc	
7 データサイエンス・リテラシー基礎 (22) 【1 単位】 ※ 2023年度から追加	基礎科目	Oc	※ 1
8 統計学 I (19) 統計学 II (19) 統計学 III (19)	自然と環境 心徳と教育 / 情報	Oc	※ 1
9 社会統計学入門 (24) 社会統計学入門 (18) 社会統計学入門 (12)	社会と産業 / 社会と人 心徳と教育 / 情報	Oc	※ 1
10 初歩からの情報学 (25) 計算の科学と手引き (19)	生活と環境 / 情報 情報 / 自然と環境	Od	
11 プログラミング入門Python (24) 【1 単位】	情報 / 自然と環境	Od	
12 R で学ぶ確率統計 (21) 【1 単位】	心徳と教育 / 情報	Od	
13 C 言語基礎演習 (20) 【1 単位】	情報	Od	
14 データ構造の基礎 (24) データ構造とプログラミング (18) データ構造とプログラミング (13)	情報 / 自然と環境	Od	
15 アプリケーション開発の基礎 (26) 問題解決の進め方 (18) 問題解決の進め方 (19)	情報 / 自然と環境	Od	※ 1
16 日常生活のデジタルメディア (22) 日常生活のデジタルメディア (18)	情報 / 心徳と教育	Od	
17 社会経済の基礎 (25) 情報経済の基礎 (19) デジタル情報と経済発展 (19)	社会と産業	Od	※ 1
18 経済学概論 (18) リーシャルシエ (17)	社会と産業 社会と環境 / 心徳と教育	Od	※ 1
19 マーケティング (21) マーケティング論 (17)	情報 / 社会と産業	Od	※ 1
20 サプライチェーン・マネジメント (21)	社会と産業	Od	※ 1
21 経営情報学入門 (19)	社会と産業 / 情報	Od	※ 1
22 経営情報学入門 (24)	社会と産業 / 心徳と教育	Od	※ 1
23 数値の処理と数値解析 (22) 数値の処理と数値解析 (14)	情報 / 自然と環境		
24 データの分析と知識発見 (24) データの分析と知識発見 (20) データからの知識発見 (12)	情報 / 心徳と教育 社会と産業 / 自然と環境		
25 データサイエンス (23) マーケティング (25)	データサイエンス / 心徳と教育		
26 ユーザ調査法 (20) ユーザ調査法 (16) 情報機器利用者の調査法 (12)	情報 / 心徳と教育		
27 サプライチェーン・マネジメント (25)	社会と産業 / 情報		※ 1
28 経営情報学入門 (23) 入門線形代数 (19) 入門線形代数 (14) 入門線形代数 (9) 線形代数入門 (9)	社会と産業 / 情報 自然と環境		
29 社会調査の基礎 (15) 社会調査 (9)	社会と産業 / 自然と環境 心徳と教育		
30 自然言語処理 (23) 自然言語処理 (19) 自然言語処理 (15)	自然と環境 心徳と教育 / 情報		
31 問題解決の数理 (21) 問題解決の数理 (17)	情報		
32 解法入門 (24) 解法入門 (18) 解法入門 (14)	情報 / 自然と環境		
33 情報ネットワーク (26) 情報ネットワーク (18) 情報ネットワーク (14)	情報		
34 本プラン指定科目 【1 単位】	—		※ 1
<p>以下の科目の単位を修得済みの場合、科目の有効期限 (開講年度から 10 年間) までには認定取得条件として認めます。 (6, 7 ページの「授業科目群の覧方 (全認定プラン共通)」参照)</p>			
科目名	分野別・Oa コース名	必修 科目	備考
38 統計学 II (17)	心徳と教育 / 自然と環境	Oc	※ 1
39 アプリケーション開発の基礎 (20) アプリケーション開発の基礎 (16)	情報	Od	※ 1
40 経済学概論 (18)	社会と産業	Od	※ 1
41 リーシャルシエ (17)	社会と環境 / 心徳と教育	Od	※ 1
42 マーケティング (21)	情報 / 社会と産業	Od	※ 1
43 マーケティング論 (17)	社会と産業	Od	※ 1
44 サプライチェーン・マネジメント (21)	社会と産業	Od	※ 1
45 経営情報学入門 (19)	社会と産業 / 情報	Od	※ 1

【注 1】科目 No.1「データサイエンス・リテラシー導入 (22)」と科目 No.5「データサイエンス・リテラシー心構 (22)」は、2023 年度より選択必修科目に追加されたが、2022 年度にこの科目の単位を修得した場合は修得単位として認定します。
【注 2】2023 年度より履修要件が変更されたこと、「情報セキュリティと倫理 (14)」と「データサイエンス・リテラシー心構 (22)」の両方を修得していても、新しく修得したとらから一方の科目は認定取得条件として認められません。
【注 3】重複授業やオンライン Web 授業を授業科目群に加える予定です。対象となる科目名等、詳細は本学ウェブサイトでお知らせします。

データサイエンスアドバンスプラン

✓ 10 単位以上の修得が必要
(必修科目 5 単位以上、選択必修科目
5 単位以上を含む)

✓ 文部科学大臣認定
(MDASH Advanced Literacy)

【主な科目】

- ・ データ構造の基礎 <必修>
- ・ 情報セキュリティと倫理・心得 <必修>
- ・ AIシステムと人・社会との関係 <必修>
- ・ 統計学
- ・ データベース
- ・ ユーザ調査法
- ・ マーケティング
- ・ サプライチェーン・マネジメント
- ・ 自然言語処理
- ・ 続・C言語基礎演習



数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (認定の有効期限: 令和 9 年 3 月 31 日まで)
応用基礎レベル

⑪ データサイエンスアドバンスプラン

認定状の名称		データサイエンス応用基礎	
<p>(認定の教育目標と社会的意義)</p> <p>情報通信社会の到来によって大量のデータが日々生産・交換され、互いの関係は非常に複雑になっている。そうしたデータの中に埋もれた重要な情報を発掘し出し、ビジネスに活かして新しい価値やサービスを創出した、生活に取り入れて健康で豊かに生きることを実現し得る試みが期待されている。本プランはデータサイエンスの基本素養となる科目を学ぶことにより、数理的思考とデータ分析に基づいて様々な問題を解決できる人材を育成する。</p>			
<p>(認定取得後の目的・目指せる道・資格等)</p> <p>① データを収集・分析し、数理的思考に基づいて社会の様々な課題を解決するためにデータサイエンスを適用できること。 ② データサイエンティスト、アクチュアリー、データアナリストとして、様々な専門領域で活躍するために役立つ知識を理解すること。</p>			
<p>(認定取得条件)</p> <p>修得科目を含む授業科目群の中から、必修科目 5 単位、選択必修科目 5 単位以上 (ただし、同一活字のある科目の中から 1 科目以上選択すること) を含めて 10 単位以上を修得すること。</p> <p>◎: 必修科目、○: 選択必修科目 (Oa, Ob など同一活字の中から 1 科目以上履修すること)、無印: 選択科目 ※「備考」欄に、重なる表記がある科目については、同じ記号の科目を複数修得しても、認定取得条件として認められるのは 1 科目分の単位数のみです。</p>			
授業科目群の構成			
科目名	分野もしくはコース名	必修科目	選択必修科目
1 データ構造の基礎 (24)	情報 / 自然と環境	◎	
2 データ構造とプログラミング (18)	情報	◎	
3 データ構造とプログラミング (13)	情報	◎	
情報セキュリティと倫理・心得 (26)	情報		◎
情報セキュリティと倫理 (22)	情報		◎
情報セキュリティと情報倫理 (18)	情報		◎
情報セキュリティと倫理 (14)	情報		◎
データサイエンス・リテラシー心得 (22)	基礎科目		◎
【1 単位】			
3 AIシステムと人・社会との関係 (20)	情報	◎	
4 統計学 (19)	自然環境 / 心理と教育	◎a	
5 統計学 (13)、統計学 (09)	情報	◎a	
6 心理統計法 (21)	心理と教育 / 情報	◎a	◎
7 社会統計学入門 (24)	社会と産業 / 心理と教育	◎a	
8 社会統計学入門 (18)	社会と産業 / 心理と教育	◎a	
9 社会統計学入門 (12)	社会と産業 / 心理と教育	◎a	
7 データベース (23)	情報 / 自然と環境	◎b	
8 データベース (17)	情報 / 自然と環境	◎b	
8 マーケティング (25)	社会と産業 / 心理と教育	◎b	◎
9 ユーザ調査法 (20)	心理と教育	◎b	
9 ユーザ調査法 (16)	心理と教育	◎b	
10 情報機器利用者の調査法 (12)	心理と教育	◎b	
10 サプライチェーン・マネジメント (25)	社会と産業 / 情報	◎b	◎
11 自然言語処理 (23)	情報	◎b	
12 自然言語処理 (19)、自然言語処理 (15)	情報	◎b	
12 プログラムとアルゴリズムの基礎 (26)	情報 / 自然と環境	◎b	◎
データの分析と知識発見 (24)	情報 / 心理と教育	◎c	
13 データの分析と知識発見 (20)	情報 / 心理と教育	◎c	
13 データの分析と知識発見 (16)	情報 / 心理と教育	◎c	
14 データからの知識発見 (12)	情報 / 心理と教育	◎c	
14 続・C言語基礎演習 (23) 【1 単位】	情報	◎c	
15 数値の処理と数値解析 (22)	情報 / 自然と環境		◎
16 数値の処理と数値解析 (14)	情報 / 自然と環境		◎
16 経営情報学入門 (23)	社会と産業 / 情報		◎
問題解決の数値 (21)	情報		◎
問題解決の数値 (17)	情報		◎
18 解析入門 (24)	情報 / 自然と環境		◎
18 解析入門 (18)、解析入門 (14)	情報 / 自然と環境		◎
19 情報ネットワーク (26)	情報		◎
19 情報ネットワーク (18)	情報		◎
20 情報ネットワーク (14)	情報		◎
20 本プラン指定科目 【1 単位】	—		◎

科目名	分野もしくはコース名	必修科目	選択必修科目
21 心理統計法 (17)	心理と教育 / 心理と教育	◎a	◎
22 マーケティング (21)	社会と産業 / 心理と教育	◎b	◎
23 マーケティング論 (17)	社会と産業 / 心理と教育	◎b	◎
24 サプライチェーン・マネジメント (21)	社会と産業 / 心理と教育	◎b	◎
25 アルゴリズムとプログラミング (20)	情報	◎b	◎
26 経営情報学入門 (19)	社会と産業 / 情報		◎

(開講科目) 以下の科目の単位を修得済みの場合、科目の有効期限 (開講年度から 10 年) まで認定取得条件として認めます。(6.ア-3の「授業科目群の見方 (全認定プラン共通)」参照)

大学院修士全科生 情報学プログラム

情報社会で課題解決のための実践的研究活動ができる人材を養成する。

科目系統図

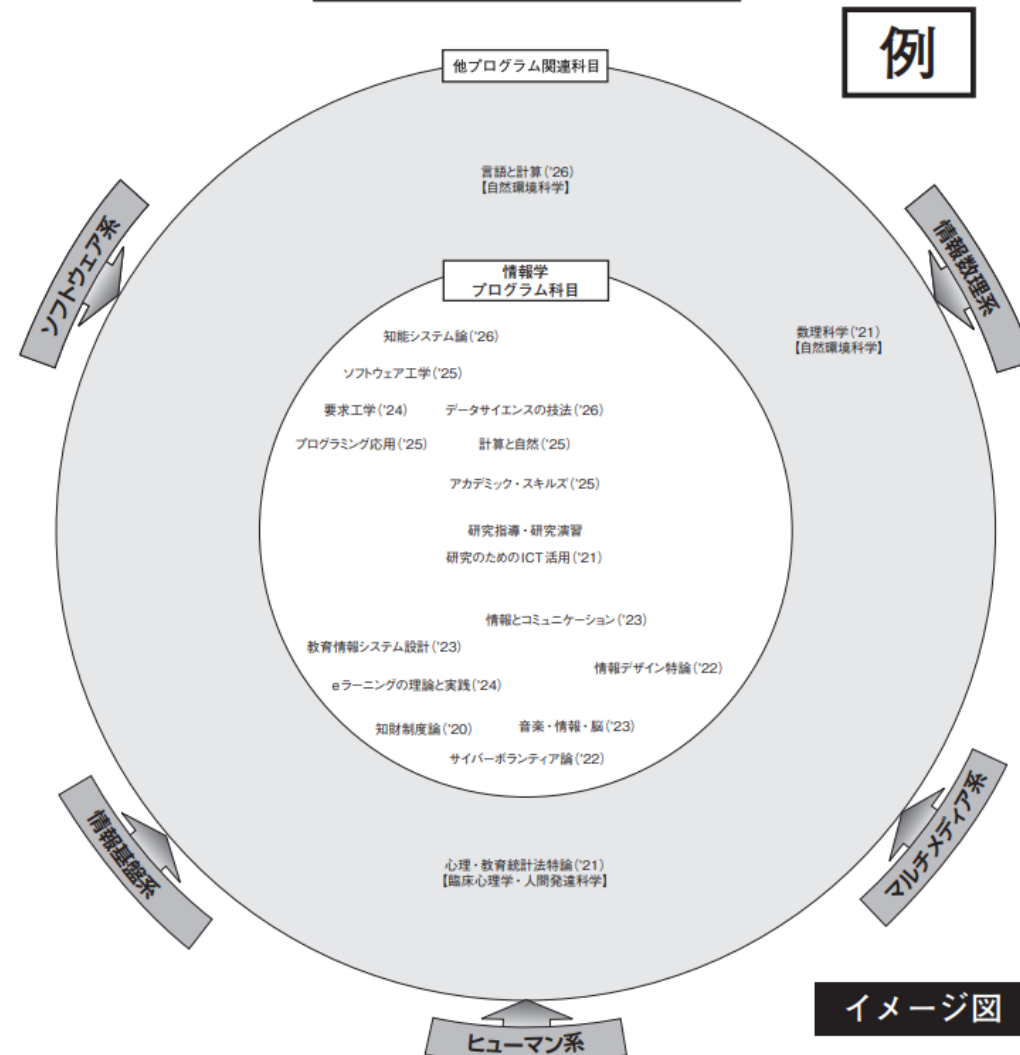
情報学プログラム

例

- ✓大学院は入学試験があり
(筆記および面接諮問、入学は4月)
- ✓修了要件は2年以上在学、30単位以上の修得、かつ修士論文等の審査および口頭試問に合格
(研究演習8単位、所属プログラムから8単位以上、左記以外で14単位以上)

【主な科目】

- ・ 研究演習 <必修>
- ・ 知能システム論
- ・ ソフトウェア工学
- ・ 要求工学
- ・ データサイエンスの技法
- ・ 計算と自然
- ・ プログラミング応用
- ・ アカデミック・スキルズ



イメージ図

3. 放送大学の学生にならずに資格取得を目指す方法もある (教育訓練給付制度は利用できない)

- ✓ 放送大学では、教育訓練給付指定講座以外に、数理・データサイエンス・AI講座（インターネット配信公開講座）を提供。
- ✓ 単位取得はできないが、短い動画で効率的・段階的に学修可能。
- ✓ 放送大学が発行するデジタルバッジの取得が可能。


放送大学の講座の特徴





隙間時間に
15分からでも学べる



スマートフォン、タブレット
からすぐに学べる



豪華な講師陣
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムの拠点校を含め、多くの大学や企業から、数理・データサイエンス・AIを専門とする講師が参加しています。




修了者には認証状とデジタルバッジを発行

- ①各講座を修了した方には、認証状とデジタルバッジ(電子証明書)を発行します。
- ②デジタルバッジは、国際的に認証されている技術を用いています。内部データとして講座の内容等が記載され、改ざんの有無も確認できます。

※本講座は授業科目ではないため、放送大学では単位認定は行いません。


リテラシーレベルと応用基礎レベルは、**数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム策定のモデルカリキュラムに対応**

▶6ページ




データサイエンス特設webサイトでは講義のサンプル動画をご視聴いただけます。


教育機関での授業利用や企業等での研修に団体受講がおすすめ



▶裏表紙

あなたに合ったテーマだけを選んで購入・受講ができる

受講前にレベル別のチェックテストを受けることで、あなたにおすすめのコンテンツを提案します。



放送大学 数理・データサイエンス・AI講座

レベル別 講義コンテンツ

下記のレベル等は数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムによるモデルカリキュラムに準拠しています。

- 初** 初級の方でも分かりやすい基本的な知識を得られる講座
- 基** 応用に向けた基本的な内容となる講座
- 深** 内容の専門性が高く、深い知識を得られる講座
- 広** 広い知識を得られる講座
- 専** 専門性の高い内容となる講座

【講座（例）】

データエンジニアリング基礎

- ①ビッグデータとデータエンジニアリング
- ②データ表現
- ③データ収集
- ④データベース
- ⑤データ加工
- ⑥ITセキュリティ
- ⑦プログラミング基礎

ソフトウェア開発への応用

- ①ソフトウェア開発における測定と分析
- ②データ分析・品質予測の技法と統計手法
- ③ソフトウェアの品質改善
- ④レビューの測定と分析
- ⑤テストの測定と分析
- ⑥個人とチームの能力向上ーPSP/TSPー
- ⑦⑧ソフトウェア開発における統計モデル・機械学習の利用

入門

- 初級 データサイエンス AIリテラシー講座 ～導入～
- 初級 データサイエンス 基礎から応用
- 基礎 デジタル社会のデータリテラシー

基礎

- 初級 データサイエンス AIリテラシー講座 ～基礎～
- 初級 データサイエンス AIリテラシー講座 ～心得～
- 選択 専攻学ぶデータサイエンス～入門～

応用・基礎

- 基礎 データサイエンス 基礎
- 基礎 データエンジニアリング基礎
- 基礎 AI基礎
- 選択 言語生成AI

応用・専門

- 選択 データサイエンス 革命
- 深 統計的因果推論の考え方と検出
- 深 ニューラルネットワーク概論
- 深 機械学習概論
- 広 AIプロデューサー ～人とAIの連携～
- 専 データ科学としての言語研究の可能性
- 専 心理学研究への応用
- 専 多変量データ分析 実践の基礎
- 専 ソフトウェア開発への応用
- 専 リハビリテーション科学のDX
- 専 地理空間情報とデータサイエンス
- 専 コミュニケーション学への応用
- 専 企業経営における実務

<https://youtu.be/hal1Hf7-sCw>

4. 教育訓練給付指定講座の拡充に向けて（まとめ）

- ✓ 放送大学では、大学院修士全科生の未指定4プログラムについても申請の可能性を模索している。
また、放送大学独自の科目群履修認証制度（履修証明プログラム）「エキスパート」18プランのうち、「健康福祉指導プラン」「福祉コーディネータープラン」は地域ニーズが高いと認識している。
- ✓ 指定申請に伴う事務的な負担軽減策を検討していただき、大学側が申請しやすくなる動きに感謝。
- ✓ さらに、職業訓練とも連携できれば、未就業者をよりよい就職に繋げるための仕組みも作ることが可能ではないか。

《2026年度版》

科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）について

～認証取得の手引き～

科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）は、本学が指定する特定の授業科目群を履修することにより、ある分野に目的・関心を持ち、そのための学習を体系的に行ったことを証明する制度です。2008年4月からは、新たに学校教育法に規定された「履修証明制度」に対応しています。

認証取得を目指される方は、「1. 認証取得までの流れ」「3. 授業科目群の見方（全認証プラン共通）」「4. プラン別認証取得条件」を読み、該当の科目を履修してください。なお、事前に特別な手続きは必要ありません。認証取得条件を満たした後に、「2. 認証状申請手続要領」に従って申請してください。

なお、本制度は放送大学の卒業要件ではありませんので、必ず取得しなくてはならないものではありません。希望者のみが申請してください。

〈2026年度 認証一覧〉 認証状交付申請期間（2026年4月1日～2027年9月30日）

No.	認証プラン名（認証状の名称）	認証の教育目標と社会的意義
1	健康福祉指導プラン（健康福祉運動指導者）	介護予防や健康維持のため、中高年者・健常人に適切な運動実践を促す指導者を目指します。
2	福祉コーディネータプラン（福祉コーディネータ）	福祉NPOや地域で活躍する人に求められる福祉や保険の知識、活動知見を高めます。
3	社会生活企画プラン（社会生活プランナー）	個人・コミュニティ・組織など、社会の仕組みを科学的にプランニングする「社会生活プランナー※」を目指します。 ※「社会生活プランナー」は、放送大学独自の呼称です。
4	心理学基礎プラン（心理学基礎）	心理学を包括的に理解するため、入門・初級から、さらにより高いレベルを目指します。
5	臨床心理学基礎プラン（臨床心理学基礎）	人と人との実践的にかかわりに関する臨床心理学の基礎的知識の習得を目指します。
6	異文化コミュニケーションプラン（異文化理解支援）	ボランティア活動などの場において、異なる文化の人々と交流するためのコミュニケーション力を高めます。
7	宇宙・地球科学プラン（宇宙・地球科学）	宇宙・地球のことを学びながら、自然のシステム、社会・人文的システムの理解を深めます。
8	環境科学プラン（環境科学の基礎）	環境に関するあらゆる課題を科学的に検証し、持続可能社会のリーダーを目指します。
9	芸術系博物館プラン（芸術系博物館活動支援）	美術館・演劇博物館などの活動を通じて、芸術文化の普及に貢献する人を育てます。
10	歴史系博物館プラン（歴史系博物館活動支援）	歴史や文化遺産についての知識を身につけ、地域や博物館などで活躍する人を育てます。
11	自然系博物館プラン（自然系博物館活動支援）	博物館学の一般的基礎に、自然科学の専門性も加え、自然系博物館の活動を支援する人を育てます。
12	工学基礎プラン（工学基礎）	技術の基礎となる自然科学の科目、工学と社会のかかわり、社会の問題を学び、工学を専門とする方が必須とする教養を身につけます。
13	地域貢献リーダー人材育成プラン（地域貢献リーダー人材）	地域社会のさまざまな問題解決に主体的に取り組めるリーダーの育成を目指します。
14	日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド（基礎力）養成プラン（日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド（基礎力）養成）	伝統的な日本文化について幅広く学び、日本に関心のある外国の方々へ外国語で伝える能力を身につけます。
15	学校地域連携コーディネータープラン（学校地域連携コーディネーター）	学校、地域、子どもなどに関わる知識で学校支援活動や地域活動の要となるコーディネーターを養成します。
16	データサイエンスリテラシープラン（データサイエンス・リテラシー）	数理・データサイエンス・AIが、現在の社会変化に深く寄与し、自らの生活とも密接に結びついていることを理解することで、データサイエンスを仕事等の場で使いこなすための基礎的素養を身につけます。
17	データサイエンスアドバンスプラン（データサイエンス応用基礎）	データ駆動型社会においてデータサイエンスを学ぶことの意義を理解することにより、分析目的に応じた適切なデータ分析手法の選択や、データ可視化手法の選択などができるようになるための知識を身につけます。
18	教育事務専門プラン（教育事務エキスパート）	学校事務に関する最新動向を中心に、直面する様々な課題に取り組むための基盤となる知識の獲得を目指します。
※19	食と健康アドバイザープラン（食と健康アドバイザー）	健康の維持・増進、疾病の予防、食の安全性など「食」に関する知識と理解力を持つ人を育てます。
※20	人にやさしいメディアデザインプラン（人にやさしいメディアのデザイン）	メディアの扱い方と、人を中心としたそのデザインに関する基礎知識を学びます。
※21	データサイエンスプラン（データサイエンス）	大量のデータの中から有益な情報を見つけ出す。数理的思考とデータ分析に基づいて問題を解決できる人材を育てます。
※22	市民活動支援プラン（市民政策論）	政治的な教養、法的な枠組みを学び、市民活動への高度なサポート能力を育成します。
※23	日本の文化・社会探究プラン（日本の文化と社会）	日本の文化と社会の全体像を、過去から現在まで総合的に把握し、未来に向けて発想力・構築力・表現力の養成を目指します。
※24	計算機科学基礎プラン（計算機科学の基礎）	計算機科学および数理系の知識を身につけ、計算機に関わる問題に対応できる人材を育成します。

※「認証状」「証明書」及び「カード」には「認証状の名称」が記載されます。「認証プラン名」は記載されません。

※本パンフレットの認証取得条件を満たした場合には、2027年度第1学期末まで（2026年4月1日～2027年9月30日）申請が可能です。その期間を過ぎた場合には、最新版の認証取得条件をご確認ください。

※No.19～No.21のプランは2022年3月31日をもって廃止されましたが、2027年3月31日まで申請は可能です（その間、新規科目の追加及び有効期限切れ科目の削除は行いません）。

※No.22～No.24のプランは2023年3月31日をもって廃止されましたが、2028年3月31日まで申請は可能です（その間、新規科目の追加及び有効期限切れ科目の削除は行いません）。

※No.16～No.17のプランは、文部科学大臣が認定及び選定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定されています。

※放送授業科目の開設期間はおおむね4年間です（開設期間は事情により変更することがあります）。



科目群履修認証制度

放送大学 **エキスパート**

⑩ データサイエンスリテラシープラン

認証状の名称	データサイエンス・リテラシー
<p>(認証の教育目標と社会的意義)</p> <p>数理・データサイエンス・AIは、現在進行中の社会変化に深く寄与しているものであること、また、それらが自らの生活と密接に結びついていることを理解し、それを理解するための基礎的な知識を身につけること。</p>	
<p>(認証取得後の目的・目指せる道・資格等)</p> <p>①データを収集・分析し、数理的思考に基づいて社会の様々な課題を解決するためにデータサイエンスが活用されていることを理解する。 ②データサイエンティスト、アクチュアリー、データアナリストになるための基礎的な知識を身につける。基礎的な知識とは、データ・AIの活用領域、留意事項、およびデータを読み、説明し取り扱うための知識を指す。</p>	
<p>(認証取得条件)</p> <p>閉講科目を含む授業科目群の中から、選択必修科目4単位以上(ただし、同一添え字のある科目の中から1科目以上履修すること)を含めて8単位以上を修得すること。 ○：選択必修科目(Oa、Obなど同一添え字の中から1科目以上履修すること)、無印：選択科目 ※「備考」欄に①、②等の表記がある科目については、同じ記号の科目を複数修得していても、認証取得条件として認められるのは1科目分の単位数のみです。</p>	

授業科目群の構成

科目名	分野もしくはコース名	必修科目	選択必修科目	備考
1 データサイエンス・リテラシー導入(22) 【1単位】 ※2023年度から追加	基盤科目		○a	【注1】
2 情報技術が拓く人間理解(20)	情報/心理と教育 自然と環境		○a	
3 AIシステムと人・社会との関係(20)	情報		○a	
4 情報学へのとびら(22) 情報学へのとびら(16)	基盤科目		○b	
5 情報セキュリティと倫理・心得(26) 情報セキュリティ概論(22) 情報セキュリティと情報倫理(18) 情報のセキュリティと倫理(14) データサイエンス・リテラシー心得(22) 【1単位】 ※2023年度から追加	情報		○b	【注1】 【注2】
6 身近な統計(24) 身近な統計(18)、身近な統計(12) 身近な統計(07)	基盤科目		○c	
7 データサイエンス・リテラシー基礎(22) 【1単位】 ※2023年度から追加	基盤科目		○c	【注1】
8 統計学(19) 統計学(13)、統計学(09)	自然と環境 心理と教育/情報		○c	
9 心理学統計法(21)	心理と教育/情報		○c	①
10 社会統計学入門(24) 社会統計学入門(18) 社会統計学入門(12)	社会と産業/生活と福祉 心理と教育/情報		○c	
11 初歩からの情報科学(25) 計算の科学と手引き(19)	生活と福祉/情報 情報/自然と環境		○d	
12 プログラミング入門Python(24)【1単位】	情報/自然と環境		○d	
13 C言語基礎演習(20)【1単位】	情報		○d	
14 Rで学ぶ確率統計(21)【1単位】	心理と教育/情報		○d	
15 表計算プログラミングの基礎(21) 【1単位】	情報		○d	
16 データ構造の基礎(24) データ構造とプログラミング(18) データ構造とプログラミング(13)	情報/自然と環境		○d	
17 プログラムとアルゴリズムの基礎(26)	情報/自然と環境		○d	②
18 問題解決の進め方(25) 問題解決の進め方(19)	基盤科目			
19 日常生活のデジタルメディア(22) 日常生活のデジタルメディア(18) 日常生活のデジタルメディア(14)	情報/心理と教育			
20 社会経済の基礎(25)	社会と産業			③
21 情報理論とデジタル表現(19) デジタル情報と符号の理論(13)	情報			
22 初歩からの数学(18) 初歩からの数学(12)	基盤科目			
23 経営学入門(24)	社会と産業/心理と教育			④
24 数値の処理と数値解析(22) 数値の処理と数値解析(14)	情報/自然と環境			
25 データの分析と知識発見(24) データの分析と知識発見(20) データの分析と知識発見(16) データからの知識発見(12)	情報/心理と教育 社会と産業/自然と環境			
26 データベース(23) データベース(17)	情報/自然と環境			
27 マーケティング(25)	社会と産業/心理と教育			⑤
28 ユーザ調査法(20) ユーザ調査法(16) 情報機器利用者の調査法(12)	情報/心理と教育			
29 サプライチェーン・マネジメント(25)	社会と産業/情報			⑥
30 経営情報学入門(23)	社会と産業/情報			⑦
31 入門線型代数(19) 入門線型代数(14)、入門線型代数(09) 線型代数入門(03)	自然と環境			
32 社会調査の基礎(19) 社会調査の基礎(15)、社会調査(09) 社会調査(05)	社会と産業/生活と福祉 心理と教育			
33 自然言語処理(23) 自然言語処理(19)、自然言語処理(15)	情報			
34 問題解決の数理(21) 問題解決の数理(17)	情報			
35 解析入門(24) 解析入門(18)、解析入門(14)	情報/自然と環境			
36 情報ネットワーク(26) 情報ネットワーク(18) 情報ネットワーク(14)	情報			
37 本プラン指定科目【1単位】	—			【注3】

以下の科目の単位を修得済みの場合、科目の有効期限(閉講年度から10年間)までは認証取得条件として認めます。
 (6、7ページの「授業科目群の見方(全認証プラン共通)」参照)

科目名	分野もしくはコース名	必修科目	選択必修科目	備考
38 心理統計法(17)	心理と教育/人間と文化		○c	①
39 アルゴリズムとプログラミング(20) アルゴリズムとプログラミング(16)	情報		○d	②
40 経済社会を考える(19)	社会と産業			③
41 経営学概論(18)	社会と産業			④
42 ソーシャルシティ(17)	生活と福祉/心理と教育			
43 マーケティング(21)	情報/社会と産業 心理と教育			⑤
44 マーケティング論(17)	社会と産業			⑥
45 サプライチェーン・マネジメント(21)	社会と産業			⑦
46 経営情報学入門(19)	社会と産業/情報			⑧

【注1】科目No.1「データサイエンス・リテラシー導入(22)」と科目No.5「データサイエンス・リテラシー心得(22)」、科目No.7「データサイエンス・リテラシー基礎(22)」は2023年度より選択必修科目に追加となりましたが、2022年度にこの科目の単位を修得した場合も修得単位として認定します。
 【注2】2026年度より履修制限がかかることで、「情報セキュリティ概論(22)」と「データサイエンス・リテラシー心得(22)」の両方を修得していても、新しく修得したどちらか一方の科目しか認証取得条件として認められません。
 【注3】面接授業やライブWeb授業を授業科目群に加える予定です。対象となる科目名等、詳細は本学ウェブサイトでご公表します。

本プランは、文部科学大臣が認定及び選定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」として認定されています

⑰ データサイエンスアドバンスプラン

認証状の名称	データサイエンス応用基礎
<p>(認証の教育目標と社会的意義)</p> <p>情報通信社会の到来によって大量のデータが日々生産・交換され、互いの関係は非常に複雑になっている。そうしたデータの中に潜む有益な情報を見つけ出し、ビジネスに活かして新しい価値やサービスを創出したり、生活に取り入れて健康で豊かに生きることを支援したりする試みが始まっている。本プランはデータサイエンスの基本要素となる科目を学ぶことにより、数理的思考とデータ分析に基づいて様々な問題を解決できる人材を育成する。</p>	
<p>(認証取得後の目的・目指せる道・資格等)</p> <p>①データを収集・分析し、数理的思考に基づいて社会の様々な課題を解決するためにデータサイエンスを適用できること。 ②データサイエンティスト、アクチュアリー、データアナリストとして、様々な専門領域で活躍するときに役立つ知識を理解すること。</p>	
<p>(認証取得条件)</p> <p>閉講科目を含む授業科目群の中から、必修科目5単位、選択必修科目5単位以上(ただし、同一添え字のある科目の中から1科目以上選択すること)を含めて10単位以上を修得すること。 ◎：必修科目、○：選択必修科目(○a、○bなど同一添え字の中から1科目以上履修すること)、無印：選択科目 ※「備考」欄に㉖、㉗等の表記がある科目については、同じ記号の科目を複数修得していても、認証取得条件として認められるのは1科目分の単位数のみです。</p>	

授業科目群の構成

科目名	分野もしくはコース名	必修科目	選択必修科目	備考
1 データ構造の基礎('24) データ構造とプログラミング('18) データ構造とプログラミング('13)	情報 / 自然と環境	◎		
2 情報セキュリティと倫理・心得('26) 情報セキュリティ概論('22) 情報セキュリティと情報倫理('18) 情報のセキュリティと倫理('14) データサイエンス・リテラシ心得('22) 【1単位】 ※2026年度から追加	情報 基盤科目	◎		【注1】 【注2】
3 AIシステムと人・社会との関係('20)	情報	◎		
4 統計学('19) 統計学('13)、統計学('09)	自然と環境 / 心理と教育 情報		○a	
5 心理学統計法('21)	心理と教育 / 情報		○a	㉖
6 社会統計学入門('24) 社会統計学入門('18) 社会統計学入門('12)	社会と産業 / 生活と福祉 心理と教育 / 情報		○a	
7 データベース('23) データベース('17)	情報 / 自然と環境		○b	
8 マーケティング('25)	社会と産業 / 心理と教育		○b	㉗
9 ユーザ調査法('20) ユーザ調査法('16) 情報機器利用者の調査法('12)	情報 / 心理と教育		○b	
10 サプライチェーン・マネジメント('25)	社会と産業 / 情報		○b	㉘
11 自然言語処理('23) 自然言語処理('19)、自然言語処理('15)	情報		○b	
12 プログラムとアルゴリズムの基礎('26)	情報 / 自然と環境		○b	㉙
13 データの分析と知識発見('24) データの分析と知識発見('20) データの分析と知識発見('16) データからの知識発見('12)	情報 / 心理と教育 社会と産業 / 自然と環境		○c	【注3】
14 続・C言語基礎演習('23) 【1単位】	情報		○c	

科目名	分野もしくはコース名	必修科目	選択必修科目	備考
15 数値の処理と数値解析('22) 数値の処理と数値解析('14)	情報 / 自然と環境			
16 経営情報学入門('23)	社会と産業 / 情報			㉚
17 問題解決の数理('21) 問題解決の数理('17)	情報			
18 解析入門('24) 解析入門('18)、解析入門('14)	情報 / 自然と環境			
19 情報ネットワーク('26) 情報ネットワーク('18) 情報ネットワーク('14)	情報			
20 本プラン指定科目 【1単位】	—			【注4】

(閉講科目) 以下の科目の単位を修得済みの場合、科目の有効期限(開講年度から10年間)までは認証取得条件として認めます。(6、7ページの「授業科目群の見方(全認証プラン共通)」参照)

科目名	分野もしくはコース名	必修科目	選択必修科目	備考
21 心理統計法('17)	心理と教育 / 人間と文化		○a	㉛
22 マーケティング('21)	情報 / 社会と産業 心理と教育		○b	㉜
23 マーケティング論('17)	社会と産業		○b	㉝
24 サプライチェーン・マネジメント('21)	社会と産業		○b	㉞
25 アルゴリズムとプログラミング('20) アルゴリズムとプログラミング('16)	情報		○b	㉟
26 経営情報学入門('19)	社会と産業 / 情報			㊱

【注1】科目No.2「データサイエンス・リテラシ心得('22)」は2026年度より必修科目に追加となりましたが、2025年度にこの科目の単位を修得した場合も修得単位として認定します。追加した理由は、これまでに「データサイエンス・リテラシ心得('22)」の単位を修得した方が、「情報セキュリティと倫理・心得('26)」の履修制限の対象科目となったことにより、必修科目を履修できないこととなるのを防ぐためです。

【注2】2026年度より履修制限がかかることで、「情報セキュリティ概論('22)」と「データサイエンス・リテラシ心得('22)」の両方を修得していても、新しく修得したどちらか一方の科目しか認証取得条件として認められません。なお、2026年度より必修科目の単位数が6単位から5単位に変更、合計必要単位数が11単位から10単位に変更になりましたので、不利益になることはありません。

【注3】科目No.13「データの分析と知識発見('20)」は2022年度まで必修科目としていましたが、2023年度より必修科目の指定を解除し、新設した選択必修科目○cの指定とします。科目No.13「データの分析と知識発見('20)」を2022年度までに修得している場合でも、2023年度以降は選択必修科目(○c)の単位として認められ、2023年度より必修科目の単位数が8単位から6単位に変更になりましたので、不利益になることはありません。

【注4】面接授業やライブWeb授業を授業科目群に加える予定です。対象となる科目名等、詳細は本学ウェブサイトでご覧いただけます。

本プランは、文部科学大臣が認定及び選定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」として認定されています